Yayoi 67 INFORMATION 行事予定

#### 10月

#### ■神社山自然観察路秋季一般公開 <del>■般参加可能</del>

日時 10月8日(月) 場所 北海道演習林 問合せ先 北海道演習林

TEL: 0167-42-2111

E-mail: hokuen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■第17回東京大学ホームカミングデイ

日時 10月20日(土)

・収穫体験会

場所 生態調和農学機構 問合せ先 admin@isas.a.u-tokyo.ac.jp ·農学生命科学研究科 講演会

場所 弥生講堂アネックスセイホクギャラリー 問合せ先 E-mail: koho@ofc.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■公開講座「樹木のボディランゲージ」 ●般参加可能

日時 10月25日(木) 場所 秩父演習林 問合せ先 秩父演習林利月

合せ先 秩父演習林利用者窓口 TEL: 0494-22-0272 E-mail: chichibu-riyou@uf.a.u-tokyo.ac.jp

# ■公開講座「チョコレート作りを体験しよう!

日時 10月(未定) 場所 樹芸研究所

場所 樹芸研究所 問合せ先 樹芸研究所加納事務所

TEL: 0558-62-0021 E-mail: jyugeiken@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■牧場公開デー ●般参加可能

日時 10月27日(土)場所 附属牧場 間合せ先 附属牧場事務室

合せ先 附属牧場事務室 TEL: 0299-45-8953

E-mail: bokujo-jimu@ofc.a.u-tokyo.ac.jp

#### 11月

# ■子ども樹木博士認定会 -般参加可能

日時 11月4日(日) 場所 田無演習林

主催 西東京市「子ども樹木博士」を育てる会

問合せ先 田無演習林

TEL: 042-461-1528 E-mail: tanashi2010@uf.a.u-tokyo.ac.ip

# 休日公開 (一般参加可能)

持 11月4日(日)・12月1日(土)

場所 田無演習林 問合せ先 田無演習林

TEL: 042-461-1528

E-mail: tanashi2010@uf.a.u-tokyo.ac.jp

## ■ガイドツアー 「森林調査体験と

秋の渓畔林散策」 <del>- 般参加可能</del> 日時 11月7日 (水)

場所 秩父演習林

問合せ先 秩父演習林利用者窓口

TEL: 0494-22-0272

E-mail: chichibu-riyou@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■A1ターム授業終了 11月16日(金)

## ■第55回農学部公開セミナー (一般参加可能)

日時 11月17日(土) 場所 弥生謹堂一条ホール

場所 弥生講堂一条ボール 問合せ先 総務課総務チーム広報情報担当 TEL: 03-5841-5484/8179 E-mail: koho@ofc.a.u-tokvo.ac.ip

# ■犬山市民総合大学現地講義 (**-**般参加可能)

日時 11月17日(土) 場所 生態水文学研究所 問合せ先 生態水文学研究所

无 生態水义字研究所 TEL: 0561-82-2371

#### ■犬山市「秋のふれあい自然観察会」 (一般参加可能)

日時 11月18日(日) 場所 生態水文学研究所 問合せ先 生態水文学研究所

■A2ターム授業開始 11月19日(月)

# ■とよた森林学校講座

「森林と水資源と山地災害」 (二般参加可能)

TEL: 0561-82-2371

日時 11月25日(日) 場所 生態水文学研究所 問合せ先 生態水文学研究所 TEL: 0561-82-2371

#### 12月

## ■休日公開 (一般参加可能)

日時 12月1日(土) 場所 田無演習林 問合せ先 田無演習林

> TEL: 042-461-1528 E-mail: tanashi2010@uf.a.u-tokyo.ac.jp

# ■シデコブシの会

「標石を探そうツアー」 (一般参加可能)

日時 12月2日(日) 場所 生態水文学研究所 問合せ先 生態水文学研究所 TEL: 0561-82-2371

## ■千葉県森林インストラクター会 「野外講座 東大演習林~

紅葉の猪ノ川林道を歩く

 日時
 12月4日(火)

 場所
 千葉演習林

 問合せ先
 千葉演習林社会連携係

TEL: 04-7094-0621 E-mail: chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

### ■内浦山県民の森催事 「晩秋の森ハイキング」

日時 12月6日(木) 一般参加可能

場所 千葉演習林 問合せ先 千葉演習林社会連携係 TEL: 04-7094-0621

E-mail: chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■影森祭 (一般参加可能)

12月9日(日) 析 秩父演習林

せ先 秩父演習林利用者窓口

TEL: 0494-22-0272 E-mail: chichibu-riyou@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■浜名湖をめぐる研究者の会 (**-**般参加可能)

日時 12月上旬

場所 附属水産実験所 問合せ先 附属水産実験所事務室 TEL: 053-592-2821

■冬期休業 12月28日(金)~1月6日(日)

#### 1月

■A2ターム授業終了 1月23日(水) ■Wターム授業開始 1月24日(木)

#### 2月

#### ■森林博物資料館一般公開 (**-**般参加可能)

日時 2月3日(土) 場所 千葉演習林 問合せ先 千葉演習林社会連携係

TEL: 04-7094-0621 E-mail: chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

#### ■シデコブシの会

「研究林内野生生物とジビエ」 (一般参加可能)

日時 2月16日(土) 場所 生態水文学研究所 問合せ先 生態水文学研究所 TEL: 0561-82-2371

### ■千葉県森林インストラクター会 「野外講座 清澄から筒森へ~

#### |野外語座 | 河辺から同森へ〜

清澄寺から筒森の樹木見本林へ」 (一般参加可能)

日時 2月(未定) 場所 千葉演習林 問合せ先 千葉演習林社会連携係

TEL: 04-7094-0621 E-mail: chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

## ■Wターム授業終了 2月21日(木)

■春季休業 2月22日(金)~3月31日(日)

#### 3月

# ■内浦山県民の森催事

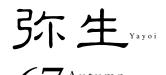
「早春ハイク烏帽子山から初日山」 (一般参加可能) 日時 3月5日(火)

場所 千葉演習林 問合せ先 千葉演習林社会連携係

TEL: 04-7094-0621 E-mail: chibaen@uf.a.u-tokyo.ac.jp

# 学位記授与式 3月25日(月)

■卒業式 3月26日(火)



#### 編集後記

本学に赴任して1年半程度である小職はこの4月からの即席広報委員であり、事実、小職以外の委員・編集者の方々に導かれている現状で、「弥生」67号に知ったかぶりして編集後記に足跡を残すのは実に汗顔の至りである。(編集者の皆さまに感謝!)さて、本号のテーマは「導く」。前述のように、個人的にはまだまだ導かれることの多い身であるが、同時に導いていかなければならない立場であることを、本号の中身を先読みすることで改めて認識できたが、読者の方々に

とっても興味深い話に心惹かれたことであろうと思う。読者と言えば、本誌における中心的な読者は誰であろうか? 個人的には多くの学生に読んで欲しいと思うが、小職の研究室では学生が本誌を読んでいる姿を目にしたことはない。的外れなコメントであることを期待しながらも、この編集後記までお目を通して頂いた読者の方々、是非、学生や若者に対して本誌の一読に導いて頂ければ幸甚である。

広報室員 関澤信一

発行日 平成30年9月28日 企画編集: 東京大学 大学院農学生命科学研究科広報室 (清水謙多郎・岩田洋佳・永田宏次・日高真誠・関澤信一・飯田俊彰・宮沢佳恵・増田 元・金子郁夫・村上淳一・伊與泉文彰) 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 TEL:03-5841-8179 FAX:03-5841-5028 E-mail:koho@ofc.a.u-tokyo.ac.jp http://www.a.u-tokyo.ac.jp/デザイン: 梅田敏典デザイン事務所 表紙撮影: 中島 剛 取材編集: 米谷紳之介 印刷: 凸版印刷株式会社



# 15年目を迎えた アグリバイオインフォマティクス教育研究ユニット



アグリバイオインフォマティクス教育研究ユニットは、今年度で15年目を迎えました。2004年の設立以来、バイオインフォマティクスに関する実践的教育と、バイオインフォマティクスに関連した農学生命科学の最先端の研究を行う、「アグリバイオインフォマティクス教育研究プログラム」を推進してきました。これまでに延べ5600人以上が本プログラムの講義を受講しており、バイオインフォマティクスの一大教育研究拠点として認知されています。

本プログラムの講義の多くは、農学部2号館2階の化学第1講義室で、5、6限に実施しています。6限は20時半までですので、大学の講義としては非常に遅い時間に設定されていますが、これは、研究科共通科目として、既存の講義と重ならない時間に実施するためだけでなく、他研究科・他大学の大学院生や社会人を含むより多くの人々に、バイオインフォマティクスを体系的に学ぶ場を提供するためでもあります。実際、昨年度1科目以上合格した191人には、本学他研究科の学生32人、他大学の学生12人、社会人27人が含まれています。

本プログラムの特徴は、PCを用いた実習を含む実践的な教育を行うことにあります(写真上)。ユニットではこのために90台以上のノートPCを用意しています。PCには講義で使用する様々なソフトウェアがインストールされており、どのPC



でも同じように使用できるよう、すべて同じ環境に揃えられています。さらに、PC貸出しの管理や、学外を含む受講生の成績の管理のために、独自の学務システムを運用しています。また、PCの貸出し・片付けを含む講義の円滑な実施のためには、TAの学生さんの協力も欠かせません(写真右)。

また今年度は、講義「フィールドインフォマティクス」を新設し、 8月にはこの分野を担う特任准教授を迎えました。インフォマティ クスには細分化された学問分野を横断・統合する力があります。 次の15年も、様々な学問分野を俯瞰できる人材の養成を通し て、農学生命科学の発展に貢献していきたいと考えています。

アグリバイオインフォマティクス 教育研究ユニット

寺田透 准教授

|10|